

印刷業界の新技术情報を三美印刷がお届けするメールニュース

sanbi-i-com (No.166)

SDGs(持続可能な開発目標) ②

オフセット印刷の環境面とSDGs

SDGsは経済、社会、環境等の広範な課題を網羅しているため、オフセット印刷ももちろんSDGsと無縁ではありません。環境面に限っても、SDGsに関係する事項が多々あります。

1. グリーンプリンティング(GP)認定制度

日本印刷産業連合会(略称:日印産連)では、同会が運営するグリーンプリンティング(GP)認定制度のオフセット印刷サービスグリーン基準の各基準がSDGsの17の目標と169のターゲットのどれに関連するのかという紐付けを行っており、その主な内容を同会の機関誌の記事*に掲載しています。記事の内容は次項でご紹介いたしますが、まずはGPとはどのようなものなのかを以下にご説明申し上げます。

*『JFPI Report』No.168(2019年7月号)、p.22~23の記事「GP認定とSDGsの関係を明確化」

<GP認定制度とは>

日印産連が制定した印刷産業界の環境自主基準「印刷サービスグリーン基準」に基づく認定制度です。以下の三つから成り立っています。

- 1) 環境配慮された印刷工場を認定する「GP工場認定制度」

⇒認定基準には、法令順守、有害物質・VOCの抑制、廃棄物抑制、リサイクル促進、省エネなど様々な環境対応が盛り込まれています。

- 2) 印刷工場が使用する資機材を環境配慮度合に応じて認定する「GP資機材認定制度」
- 3) 認定工場が製造した印刷製品にGPマーク(環境ラベル)を表示できる「GP製品認定制度」

※2019年7月時点で、認定工場は398工場、認定資機材は678製品に及んでいます。

※環境の認証といえばISO14001が有名ですが、GPは下表に挙げる点がISO14001とは異なっており、これらはGPが「印刷の総合的な」環境配慮を進める仕組みと言われる所以でもあります。

	用途(規格要素)	認定対象
ISO 14001	汎用(全業種に共通の要素のみ)	組織のみ
GP	印刷業専用(印刷業特有の要素あり)	組織の「工場認定」の他にモノの「資機材認定」あり

2. オフセット印刷の環境面とSDGs


日印産連の[オフセット印刷サービスグリーン基準](#)は随時見直しされていますので、現状で思いつくり限りのオフセット印刷の環境面は網羅されているものと思われます。前述の記事では、同基準とSDGsの9個の目標(番号では3, 6, 7, 8, 11, 12, 13, 14, 15)との関連が紹介されています。目標番号ごとに関連する基準とターゲットを右のような表形式で次頁にご紹介いたします。筆者のコメントがある場合は、表の下に書き加えます。

<表の見方>


SDGsの目標アイコン(目標番号の表示あり)	SDGsの目標文	
	⇒その目標に関連する基準 (このように薄緑色で網掛けします)	
	関連するターゲット番号	そのターゲットの内容(原文和訳ではなく、要旨のみ)
	〃	〃
⇒以上のターゲットに関連する基準(もしあれば)		


※ターゲット番号は、例えば3.9ならば、目標3に付随する9番目のターゲットを意味します。


※ターゲットの内容の所は、原文は長文のものが多いため、要旨のみの記載とさせていただきます。


	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
	⇒VOC 排出抑制関連基準
	3.9 環境汚染による死亡と疾病の件数を減らす


健康については、かつて印刷業界には痛恨の出来事がありました。いわゆる胆管がん問題です。洗浄剤の有機溶剤に含まれていたジクロロプロパン(VOCの一種)が原因物質と推定されています。このような洗浄剤をまだ使っている会社はさすがにもうないと思いますが、それでも印刷会社としては、「印刷業界でVOCによる被害が発生して社会問題になったことがある」という事実を忘れずに、「VOC抑制は人命に関わる重要課題」と肝に銘じておかねばなりません。

	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
	⇒湿し水関連基準
	6.3 様々な手段により水質を改善する

	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
	⇒省エネ関連基準
	7.2 再生可能エネルギーの割合を増やす
	7.3 エネルギー効率の改善率を増やす


	包括的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を推進する
	⇒グリーン基準全体
	8.4 10YFP(注)に従い、経済成長と環境悪化を分断する
	(注) 10YFPは、2012年に採択された国連の「持続可能な消費と生産10年計画枠組み」の略語


	包括的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する
	⇒廃棄物関連基準
	11.6 大気や廃棄物を管理し、都市の環境への悪影響を減らす


	持続可能な生産消費形態を確保する	
	⇒グリーン基準全体	
	12.4	化学物質や廃棄物の適正管理により大気、水、土壌への放出を減らす
	12.5	廃棄物の発生を減らす
	⇒廃棄物・VOC・化学物質関連基準	
	12.7	持続可能な公共調達を促進する
	⇒グリーン基準全体	

印刷業は製造業ですので、SDGsの中で主に関わる目標は、この「つくる責任、つかう責任」です。生産側と消費(調達)側の双方の協力が求められます。

例えば、12.4の化学物質の放出削減の責任を果たしていない公害垂れ流しの生産者があるとして、調達者側が無頓着にもそのような生産者ばかりに発注するようでは、削減は実現できません。印刷物の場合は、GP認定工場を選んでそこに発注するだけでも、サプライチェーンを通じたSDGsの実現に寄与することになると言えます。

	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる	
	⇒省エネ関連基準	
	13.3	気候変動対策に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する

	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する	
	⇒湿し水関連基準	
	14.1	海洋汚染を防止・削減する

	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する	
	⇒紙関連基準	
	15.1	陸域・内陸淡水生態系及びそのサービスの保全・回復・持続可能な利用を確保する
	15.2	森林の持続可能な経営を実施し、森林の減少を阻止・回復と植林を増やす

現行の基準の中に森林認証紙という言葉はありませんが、森林認証紙を使うことは、間違いなくSDGsへの貢献になります。

(第166回: 2019年10月9日)